

対策案の検討について

① 検討の視点について

委員会での指摘を踏まえ
一部修正予定

平成28年3月29日
沖縄県

公共交通の役割を踏まえた対策案の検討視点

将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割

【圏域間連携の強化】

○広域的圏域の形成に向け、那覇と北部圏域の中心都市名護間における骨格性、速達性（1時間以内）、定時性等を備えた公共交通軸の構築による圏域間連携の強化

【移動利便性の向上】

○公共交通の有機的連携による県民及び観光客の移動利便性の向上

【交通の円滑化】

○県民や観光客の交通流動が多い地域における交通の円滑化

【交通渋滞の緩和】

○自動車交通が集中する地域における過度な自家用車利用から公共交通利用への転換による交通渋滞緩和

【まちづくりの支援】

・中南部都市圏の都市軸形成の支援
・中南部圏域の拠点都市を中心とした都市サービス30分生活圏形成の支援
・コンパクトな集約型市街地形成の支援
・観光リゾート地におけるまちづくりとの連携

役割を果たすために必要な視点

・持続可能性の観点から、採算性（利用促進を含む）を考慮した公共交通

公共交通の役割を踏まえた対策案の検討視点

骨格軸のルート等検討にあたっての視点

- ① 公共交通軸の構築
 - ・那覇と名護間を速達性（1時間以内）、定時性等を備えた骨格軸として設定
 - ② 多くの人が利用できる地域を經由
 - ・公共交通ネットワークの骨格軸として大きな交通流動を支える
 - ③ 自動車交通が集中している地域を經由
 - ・自動車交通が集中する地域における公共交通への利用転換
 - ④ まちづくり支援
 - ・中南部都市圏の都市軸の形成強化、まちづくり支援
- 上記の視点に加え、持続可能性の観点から採算性を考慮する。

※留意事項

・骨格軸は、速達性を重視することから、ルート検討にあたっては極端な大回りとならないよう考慮する。

フィーダー交通検討にあたっての視点

- ① 骨格軸と地域を効率的に結ぶ
- ② 既存の公共交通ネットワーク及び利用状況、まちづくりを考慮

上記の視点に加え、持続可能性の観点から採算性を考慮する。